

令和4年度 香川県理容競技大会要項

四国・全国理容競技大会代表選手選考大会

日時 2022年5月16日(月) 開会 AM10:00(受付 9:30~9:50)
場所 未定

●競技種目

【第1部門】フェード・フリースタイル	カット、スタイリング 35分
【第2部門】レディスカット・トレンディアクティブスタイル	カット、スタイリング 35分
【第3部門】ワールドヘア in Japan 2022 「D's」	カット、スタイリング 35分
【第4部門】マスタースタイルストアワード	カット、スタイリング 25分
【第5部門】クラシカルバリエーション (ジュニア部門)	カット、スタイリング 40分
【第6部門】ニューブローズカット	35分
【第7部門】ミディアムカット	30分
【第8部門】ワインディング	30分

●競技要項

第1部門～第5部門については、第74回全国理容競技大会要項に基づき、競技を行います。
第6部門～第8部門については、四国理容競技大会規程に基づき、競技を行います。

全 国 大 会 要 項

1. と き 令和4年10月17日(月)
2. と ころ 秋田県立武道館 (秋田県秋田市新屋町字砂奴寄2-2)
3. 競技種目
 - 【第1部門】フェード・フリースタイル
美しい色彩を主体とした、世界的なトレンドを感じさせる男性らしいフェードスタイル。
 - 【第2部門】レディスカット・トレンディアクティブスタイル
ヘアカラーを効果的に取り入れた、活動的な印象を与える実用性の高いレディススタイル。
 - 【第3部門】ワールドヘア in Japan 2022 「D's」
パーマ、カラーリングを効果的に取り入れ、「D's」が提案するダンディズム&セクシーな雰囲気
を表現したヘアスタイル。
 - 【第4部門】マスタースタイルストアワード
世界大会のマスタースタイルストアワードにつながる種目として実施する。
名称のサブタイトル等は開催実行組合が決定する。
 - 【第5部門】クラシカルバリエーション(ジュニア部門)
伝統的なクラシカルカットにより美しい刈り上げとファッション性のあるトップデザインやヘアカラーを
調和させたヘアスタイル。

4. 競技時間

【第1部門】 フェード・フリースタイル	カット・セット 35 分
【第2部門】 レディースカット・トレンドアクティブスタイル	カット・セット 35 分
【第3部門】 ワールドヘア in Japan 2022 「D's」	カット・セット 35 分
【第4部門】 マスタースタイリストアワード	カット・セット 25 分
【第5部門】 クラシカルバリエーションヘア(ジュニア部門)	カット・セット 40 分

5. モデル

(1)各部門とも下記に規定されたものとする。

【第1部門】 ①モデルはメンズマネキン(マネキンは国産メーカーのものに限る。品番等は自由)。

②ヘアは総体的にブラント状が確認でき、2cm以上カットできるモデルであること
(但し、刈り上げ部分の長さは1cm 以上であること)。

③ヘアカラーは自由

④マネキンの底以外に、氏名等を書き込まないこと。

⑤カット以外の事前処理は自由。

【第2部門】 ①モデルはレディースマネキン(マネキンは国産メーカーのものに限る。品番等は自由)。

②ヘアは総体的にブラント状が確認でき、2cm 以上カットできるモデルであること。

③競技事項に定めるヘアカラーを施していること。

④マネキンの底以外に、氏名等を書き込まないこと。

⑤カット以外の事前処理は自由。

【第3部門】 ①モデルはメンズマネキン(マネキンは国産メーカーのものに限る。品番等は自由)。

②ヘアは総体的にブラント状が確認でき、2cm以上カットできるモデルであること。

③「D's」が提案するパーマが施されていること。

④「D's」が提案するヘアカラーが施されていること。

⑤マネキンの底以外に、氏名等を書き込まないこと。

⑥その他、カット以外の事前処理は自由。

【第4部門】 ①モデルはメンズマネキン(マネキンは国産メーカーのものに限る。品番等は自由)。

②ヘアは総体的にブラント状が確認でき、2cm以上カットできるモデルであること。

③ヘアカラーは黒・白・ブラウン・シルバー・ブロンドの中から最大で3色までとする。

④マネキンの底以外に、氏名等を書き込まないこと。

⑤その他、カット以外の事前処理は自由。

【第5部門】 ①モデルはメンズマネキン(マネキンは国産メーカーのものに限る。品番等は自由)。

②ヘアは総体的にブラント状が確認でき、2cm以上カットできるモデルであること。

③ヘアカラーが施されていること。

④マネキンの底以外に、氏名等を書き込まないこと。

⑤その他、カット以外の事前処理は自由。

(2)競技出場前の所定の時間に集合し、モデル審査を受けるものとする。マネキン競技については、選手受付後、ゼッケン番号を貼付したマネキンを選手がモデル審査会場に搬入し、モデル審査を受けるものとする。マネキン競技のモデル審査会場と競技会場が異なる場合、モデル審査終了後のマネキンは実行委員により競技会場に搬入される。

(3)頭部全体のいずれかの一部分(約2cm²)の毛髪2cmのカットをモデル審査委員より受けるものとする。

(4)洗髪後の乾燥した状態及び毛髪を十分に濡らした状態でモデル審査を受けるものとする。

(5)マネキン設置後は、モデルと選手は接触できないものとする。

(6)メイクチェックは選手が競技時間内に行うものとする。

6. 選手数 選手数は組合員数に応じ、別に各組合ごとに割り当てるところによる。

7. 出場資格 組合員及びその従業員である理容師。マスタースタイリストアワードは、大会当日が満40歳以上であること。ジュニア部門については大会当日が23歳未満の組合員及びその従業員及び各都道府県組合が認める理容師養成校の理容科生徒(生徒は年齢制限なし)

8. 出場制限 出場は1人1部門とする。

競技事項

1. 競技種目に関する事項

【第1部門】 フェード・フリースタイル

①カットは総体的に2cm以上行うこと(但し、刈り上げ部分はその限りではない)。

②モデルの骨格を考慮しバランスの良いフェードスタイルを施すこと。

③サイド、バック下部にはトリマー(シェーパー、レザーも可)を使用しコントラストの強い美しいグラデーションを表現すること。

④仕上がりは、美しい色彩を主体とした、世界的がトレンドを感じさせる男性らしいフェードスタイルであること。

⑤バリアート、レザーアートは施さないこと(但し、ハードパートは可)

⑥ヘアスタイルに合わせて衣装をコーディネートすること。

⑦競技中のスタンドクランプ等の使用は認めるが、競技終了時には必ずテーブルに固定のクランプにマネキンを装着すること(クランプは持参すること)。

⑧マネキンにはボディーと衣装を装着すること。

⑨マネキンのボディー、衣装の着用、仕上がり審査時の角度の調整等すべては、競技時間内に行うものとする。

(2)競技時間 カット・スタイリング 35分(但し開始 25分以内にスタイリングに入ってはならない。)

(3)用具 自由。

(4)整髪料 自由。

【第2部門】 レディースカット・トレンドスタイル

(1)競技規定 ①カットは総体的に2cm以上行うこと。

②活動的な印象を与える実用性の高いヘアデザインと、モデルの個性にあわせた表現がされていること。

③ヘアデザインを活かすハイトーンカラーを取り入れたヘアスタイルであること。

④ダメージを感じさせない質感の表現をすること。

⑤ヘアデザインに合わせてトータルコーディネートをすること。

⑥競技中のスタンドクランプ等の使用は認めるが、競技終了時には必ずテーブルに固定のクランプにマネキンを装着すること(クランプは持参すること)。

⑦マネキンにはボディーと衣装を装着すること。

⑧マネキンのボディー、衣装の着用、仕上がり審査時の角度の調節等すべては、競技時間内に行うものとする。

(2)競技時間 カット・スタイリング 35分(但し、開始 15分以内にセットに入ってはならない)。

(3)用 具 自由。

(4)整 髪 料 自由。

【第3部門】 ワールド in Japan 2022 「D's」

(1)競技規定 ①カットは総体的に2cm 以上行うこと。

②「D's」が提案するダンディズム&セクシーが、モデルの個性に合わせて表現されておること。

③前下がりのスタイルでパートからの立ち上がりのアップバンクが表現されていること。

④Dセクション(下部)はフォーマルを意識した上品な長さでダンディズムが表現されていること。

⑤Sセクション(上部)はレイヤーボブを生かしたセクシーなパーマが表現されていること。

⑥「D's」のデザインを活かすカラーが施されていること。

⑦「D's」のコンセプトを取り入れたトータルコーディネートをする事。

⑧競技中のスタンドクランプ等の使用が認めるが、競技終了時には必ずテーブルに固定のクランプにマネキンを着用すること(クランプは持参すること)。

⑨マネキンにはボディーと衣装を着用すること。

⑩マネキンのボディー、衣装の着用、仕上がり審査時の角度の調整等すべては、競技時間内に行うものとする。

(2)競技時間 カット・スタイリング 35分(但し、開始 25分以内にスタイリングに入ってはならない)。

(3)用 具 自由。

(4)整 髪 料 自由。

【マスタースタイリストアワード】

(1)競技規定 ①カットは総体的に2cm 以上行うこと。但し、もみあげは事前にカットできる。

②ファッション性のあるコマーシャルスタイルであること。

③競技中のスタンドクランプの使用は認めるが、競技終了後には必ずテーブルに固定のクランプに装着し、審査を受けること(クランプは持参すること)

④メイク、アクセサリ、衣装等はコマーシャルスタイルにあったものであること。

⑤ヘアカラーを効果的に取り入れたスタイルであること。

⑥マネキンにはボディーと衣装を着用すること。

⑦マネキンのボディー、衣装の着用、仕上がり審査時の角度の調整等すべては、競技時間内に行うものとする。

(2)競技時間 カット・スタイリング 25分(時間配分は自由)。

(3)用 具 自由。

(4)整 髪 料 自由。

【ジュニア部門】クラシカルバックバリエーションヘア

(1)競技規定 ①カットは総体的に2cm 以上行うこと。

②伝統的なクラシカルカットによる美しい刈り上げとトップにファッション性のあるデザインを組み合わせること。

③トップのデザインは自由。

④トップデザインやカラーリング等、バランスのとれたスタイルであること。

⑤ネープにクラシカルな色彩のある美しい刈り上げ技術を表現すること。

⑥競技中のスタンドクランプ等の使用が認めるが、競技終了時には必ずテーブルに固定のクランプにマネキンを着用し、仕上がり審査を受けること(クランプは持参すること)。

⑦マネキンにはボディーと衣装を着用すること。

⑧ネキンのボディー、衣装の着用、仕上がり審査時の角度の調整等すべては、競技時間内に行うものとする。

(2)競技時間 カット・スタイリング 40分(時間配分は自由)。

(3)用 具 自由。

(4)整 髪 料 自由。

2. 各部門共通禁止事項

①競技準備時間中及び競技終了後にモデルに触れること。

②ヘアアクセサリ、つけ毛等をモデルに装着すること。(マスタースタイリスト部門を除く)

③カラースプレー、カラーパウダー及びそれに類似するものを使用すること。

④電気器具を複数台コンセントにつなぐこと。

3. 刈布・タオル等の取扱い

各部門ともすべて刈布、タオルの使用は自由。

4. 失格事項

次に掲げる項目に該当する場合は失格とする。

(1)所定の技術及び髪型に適合しない場合。

(2)競技時間を超過した場合。

(3)所定の用具、整髪料以外のものを使った場合。

(4)競技終了後、修正を行った場合。

(5)モデル審査を受けていないモデルを使った場合。

(6)モデルに傷を与えた場合。

(7)各部門共通禁止事項を守らない場合。

(8)刈布、タオルをつけていない場合(マネキン競技を除く)。

(9)競技完了の表示を行わなかった場合。

(10)監視委員の指示に従わなかった場合。

5. 競技完了の表示

各部門ともすべて競技完了の表示は、モデルから刈布、タオルを完全にとりはずし、一步後方に退いた後、手を挙げて行うこと。刈布、タオルを使用しない場合は、一步後方に退いた後、手を挙げるのみでよい。

審査事項

審査委員は16名とし、うち1名が委員長、2名が副委員長にあたり、それぞれ次により分担し審査業務を行うものとする。

1. 審査委員

審査委員はそれぞれ次により分担し審査業務を行うものとする。

(1)委員長 審査委員を代表し、審査全般を監理するとともに、審査表(モデル審査表を含む)をそれぞれとりまとめ、精算委員長に提出するほか、この審査事項に定める以外とくに必要とする事項について定め、これを行う。

(2)副委員長 審査委員長を補佐し、審査委員長に事故ある時はその職務を代理する。

(3)委員 審査事項に定められた業務を行う。

(4)分 担 モデル審査担当3名(第1～3部門・マスタースタイリストアワード・ジュニア部門)、
第1部門担当8名、第2部門担当8名、第3部門担当8名、マスタースタイリストアワード8名
ジュニア部門8名

2. 審査結果の発表

審査結果に関する発表は、すべて審査委員長がこれを行う。

3. 審査要項

〈審査の基準〉

【第1部門】フェード・フリースタイル

- ①モデルの骨格に合ったバランスの良いフェードが施されているかをみる。
- ②サイド、バック下部にはトリマー（シェーバー、レザーも可）を使用したコントラストの強い美しいグラデーションが表現されているかをみる。
- ③仕上がりは、美しい色彩を主体とした、世界的なトレンドを感じさせる男性らしいフェードスタイルであるかをみる。
- ④バリアート、レザーアートが施されていないかをみる。
- ⑤ボディーと衣装が装着されているかをみる。
- ⑥ヘアスタイルに合わせた衣装がコーディネートされているかをみる。

【第2部門】レディスカット・トレンディスタイル

- ①活動的な印象を与える実用性の高いヘアデザインと、モデルの個性にあわせた表現がされているかをみる。
- ②ヘアデザインを活かすハイトーンカラーを取り入れたヘアスタイルであるかをみる。
- ③ダメージを感じさせない質感の表現がさせているかをみる。
- ④ボディーと衣装が装着されているかをみる。
- ⑤ヘアデザインに合わせたトータルコーディネートがされているかをみる。

【第3部門】ワールド in Japan 2022 「D's」

- ①「D's」が提案するダンディズム&セクシーが、モデルの個性に合わせて表現されているかをみる。
- ②前下がりのスタイルでパートからの立ち上がりのアップバンクが表現されているかをみる。
- ③Dセクション（下部）はフォーマルを意識した上品な長さでダンディズムが表現されているかをみる。
- ④Sセクション（上部）はレイヤーボブを活かしたセクシーなパーマが表現されているかをみる。
- ⑤「D's」のデザインを活かすヘアカラーが施されているかをみる。
- ⑥ボディーと衣装が装着されているかをみる。
- ⑦「D's」のコンセプトを取り入れたトータルコーディネートをされているかをみる。

【マスタースタイリストアワード】

- ①ファッション性のあるコマーススタイルであるかをみる。
- ②ヘアカラーを効果的に取り入れたスタイルであるかをみる。
- ③ボディーと衣装が装着されているかをみる。
- ④メイク・アクセサリ・衣装等がコマーススタイルにあったものであるかをみる。

【ジュニア部門】クラシカルバックバリエーションヘア

- ①伝統的なクラシカルカットによる美しい刈り上げとトップにはファッション性のあるデザインを組み合わせているかをみる。
- ②トップのデザインやカラーリング等、バランスがとれたスタイルであるかをみる。
- ③ネープは、クラシカルな色彩である美しい刈り上げ技術が表現できているかをみる。
- ④ボディーと衣装が装着されているかをみる。
- ⑤ヘアデザインと衣装があったものであるかをみる。

【モデル審査】

大会要項の5.モデルの項に記載されている事項に適合しているかどうかをみる。

モデル審査において疑義のあった場合は、選手入場後、アテンションカードにより競技エリア内で伝達する。

4. 審査時間

各部門とも45分以内とする(但し、モデル審査時間を除く)。

5. 審査委員打合せ

審査委員は審査委員打合せに出席しなければならない。

6. 採点および審査の方法

(1)採点はすべて100点満点制とし、所定の審査表により行う。

(2)得点数が同じときは、審査委員長がその順位を決定する(委員長の採点は精算に加えないものとする)。

(3)仕上がり審査時のモデルについて、必ずテーブルに固定のクランプに装着し、審査を受けるものとする。

7. モデル減点

モデル審査はその公正を期するため、5点以内のモデル減点を行うことができるものとする。

8. 審査表の取扱い

(1)審査委員は各審査終了後、速やかに審査表(モデル審査表を含む)を審査委員長に提出するものとする。

(2)不完全な審査表があった場合、審査委員長はその審査委員の採点をその部門を通じて無効とする。

(3)審査委員長は審査終了後、速やかに審査表(モデル審査表を含む)を精算委員長に提出するものとする。

9. その他

タイム票の取扱いは次によるものとする。

(1)タイム係はタイム票に各選手の競技時間を正確に記録し、タイム係長に提出するものとする。

(2)タイム係長はタイム票をとりまとめ、審査委員長に提出するものとする。

選手の留意事項

1. マネキンモデル競技の場合も、選手はマネキンモデルを人間モデルと同様と考え、通常人間モデルでは行わない行為は慎むこと。
2. 選手は大会の主旨をよく理解し、競技の勝敗にとらわれることなく、理容業の本質をわきまえ、消毒衛生の遂行並びに容姿、態度等に十分留意すること。
3. 選手は大会要項及び競技事項に定められた事項を順守すること。
4. 選手は競技事項にもとづく用具のほか、刈布、タオルを持参すること。
5. モデルは競技出場前の所定の時間に集合し、モデル審査を受けなければならない。マネキン競技は、衣装を付けない状態でモデル審査を受けること。
6. モデル審査の結果に対し不服のある選手は、出場を取り消す場合がある。
7. 選手のテーブル番号は大会当日発表する。
8. 選手は各県ごとにデザインされたおしゃれなユニフォームを着用し、左胸に「所属都道府県名」(タテ8cm・ヨコ12cm)を表示すること。
9. 選手の器具等の事故は、選手の責任とする。
10. 選手は大会当日の「表彰式」にユニフォームを着用参加すること。
11. 選手は競技中に手首から指先に一切の付属品を付けないこと。但し、取り外すことが困難な場合、競技会場において監視委員に申告すること。
12. 器具は床の上に置かないこと。
13. 競技中に時計(タイマー)を使用する場合は、アラーム等、音を出さないこと。

その他の事項

ここに定める以外に大会運営について必要な事項は、全国理容競技大会運営規程によるものとする。

第73回 四国理容競技大会要項

とき 令和4年7月18日(月)

ところ 高知理容美容専門学校 (高知県高知市中万々85-3)

第1部門～第5部門は、第74回全国理容競技大会要項に基づき競技を行う。

第6部門～第8部門については、四国理容競技大会規程に基づき、競技を行う。

競技事項

<第6部門> ニューブロースカット

- (1) 競技規定
 - ① シルエットはソフトモヒカンスタイル。(エッグスタイル)
 - ② 襟元には色彩を出すこと。
 - ③ カットは総体的に2cm以上切ること。
- (2) 競技時間 35分
- (3) モデル
 - ① マネキンは自由但し国産メーカーであること。
 - ② モデル審査を受けること。
 - ③ 事前処理は一切自由。
 - ④ 毛先にブラント状が認められること。
- (4) 用具 自由(但し、ドライヤーは1kw以内とし、バリカンの使用は禁止とする)
- (5) 整髪料 自由
- (6) 禁止事項 マネキンの底以外に、氏名・目印等を書き込むこと。

<第7部門> ミディアムカット(国家試験に準ずる)

- (1) 競技規定
 - ① 髪型は、左7:3分髪によるミディアムカット。
 - ② 後頭髮際から1cm以上、クリッパーで2mmに刈ること。
 - ③ ペースト状のヘアワックスを使用し、ソフトに仕上げること。
 - ④ カット・セニングカット・整髪を競技時間内に全て行うこと。
 - ⑤ カットは総体的に2cm以上行うこと。
 - ⑥ モデル審査を受けること。
- (2) 競技時間 30分(カット20分、セニングカット・整髪10分)
- (3) モデル
 - ① 国家試験用モデルウィッグを使用すること。
 - ② 事前に顔剃り、ネックシェービングを済ませておくこと。
- (4) 用具 クランプ、国家試験に必要なカット(すき鋏を含む)用具・整髪用具、モデルウィッグ(1体)、タオル、水を入れたスプレーヤー(1個)
- (5) 整髪料 ペースト状のヘアワックス。
- (6) 禁止事項
 - ① 規定以外の用具・整髪料の使用は禁止する。
 - ② 競技前のウィッグの毛髪に、水以外のものを塗布してはならない。

- ③ドライヤーの使用は禁止する。
- ④カット時間(20分)内におけるセニング鋏の使用を禁止する。
- ⑤セニングカット・整髪時間(10分)内におけるカット鋏の使用を禁止する。
- ⑥モデルウィッグやクランプ等に目印となるものを付けてはならない。

＜第8部門＞ ワインディング

- (1)競技規定
 - ①バックスタイルで、全体に60本以上巻くこと。
 - ②サイドはCラインにし、耳前部は3本以上巻くこと。
- (2)競技時間 30分
- (3)モデル
 - ①メンズマネキン。選手が持参する。
 - ②カット以外の事前処理は禁止。
 - ③モデル審査を受けること。
- (4)用具
 - ①水スプレー(水にリンス剤を入れて使用可)
 - ②ロット・ゴム(太さ、長さ、色、改造は自由)
 - ③ペーパー(白のみ)
 - ④コーム
- (5)禁止事項
 - ①マネキンの底以外に、氏名、目印等を書き込むこと。
 - ②競技開始前にブロッキングすること。
 - ③マネキンにカラーしたり、モミアゲを剃ったりすること。

競技完了の表示

各部門とも、競技完了の表示は、競技終了時間までに、手を挙げて行うこと。

審査事項

第6部門 ニューブロースカット

- ① カット面の仕上がりを見る。
- ② シルエットの完成度を見る。
- ③ 正面からは、ラウンド(丸味)があること。
- ④ サイドからは、フロントからクラウンにかけて後ろ上がりで丸味のあるシルエットを見る。
- ⑤ 後頭部・側頭部の色彩を見る。

第7部門 ミディアムカット(国家試験に準ずる)

- ① 左7:3分髪にとるミディアムカットであること。
- ② 後頭部にクリッパー(2mm)が使用されている(1cm以上)こと。
- ③ クリッパーラインの「ぼかし」、刈り上げが十分に行われており、色彩に色むらがないこと。
- ④ もみあげの「ぼかし」ができていること。
- ⑤ 総体的な仕上がり(整髪的美しさ・ソフト感等)が綺麗であること。

第8部門 ワインディング

- ① 全体に60本以上巻いてあるか見る。
- ② サイドがCラインになっているかみる。
- ③ 左右のバランスを見る。
- ④ ゴム、ロットの配列・おさまりの完成度を見る。

失格事項

- ① 所定の技術及び髪型に適合しない場合。
- ② 競技時間を超過した場合。
- ③ 所定の用具、整髪料以外のものを使った場合。
- ④ 競技終了後、修正を行った場合。
- ⑤ モデル審査を受けていないモデルを使った場合。
- ⑥ モデルに傷を与えた場合。
- ⑦ 競技の禁止事項を守らない場合。
- ⑧ 競技中に他の選手の技術の妨害及び迷惑をかけた場合。

禁止事項

- ① 競技に関する不服及びクレーム等の行為。
- ② 競技用具、整髪料を床に置く行為。
- ③ 競技中、ダッカールピン以外の用具をポケットに入れる行為。
- ④ 競技中、モデルに補助させる行為。
- ⑤ 競技中、トレーナー等からアドバイスを受ける行為。
- ⑥ 競技開始前にモデルに触れること。(第8部門ワインディングは除く)
- ⑦ 競技終了合図後にクロス・タオル等をモデルにつけていること。
- ⑧ スプレー・ミスト等、競技用器具を首から吊るす・脇に挟んで競技する行為
- ⑨ ここに定める以外に必要な事項については審査委員の合議により減点、失格をとり行うものとする。(失格については所属県理事長、選手団長を通じて行う)

選手の留意事項

- ① 選手は、大会の趣旨をよく理解し、競技の勝敗にとらわれることなく、理容業の本質をわきまえ、消毒衛生の遂行並びに、容姿、態度等にも十分留意すること。
- ② 選手は、大会要項及び競技事項に定められた事項を順守すること。
- ③ 選手は、競技に使うマネキンは、モデル審査を受けること。
- ④ モデル審査の結果に対し不服のある選手は、出場を取り消すものとする。
- ⑤ 選手のイス番号は、大会当日競技種目ごとに発表する。
- ⑥ 選手はユニフォームを着用し、(エプロン型及び氏名・店名の入ったユニフォームは不可とする)靴は運動靴又はスニーカーとする。
- ⑦ 選手は競技事項に基づく用具を持参すること。
- ⑧ 選手はマネキン及び器具等の事故は、選手の責任とする。
- ⑨ 選手は大会当日の表彰式にユニフォームを着用して参加すること。
- ⑩ ここに定める以外に必要な事項は、審査員の合議により減点・失格とする。
(失格については所属県理事長・選手団長を通じて行う)

マネキンについて

- ① 第6部門に使用するマネキンは自由、但し国産メーカーであること
- ② 第7部門に使用するマネキンは、国家試験用マネキンとする。
- ③ 第8部門に使用するマネキンは指定しない。